

ADESSO

電波クロック

MODEL : C-8212

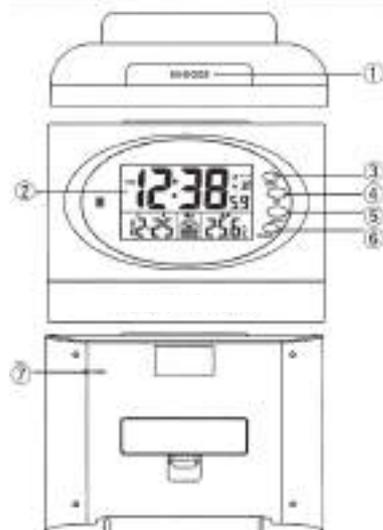
取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

本製品の特長

- 時刻合わせをする必要がありません。正確な時刻情報(日本標準時)およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、正しい時刻、カレンダーを表示する電波時計です。
- 電波を受信できない場合でも、手動にて時刻、カレンダーを合わせることができ、通常のクォーツ時計としてご使用に耐えます。
- 受信電波40/60kHzを自動的に選択し、時刻を自動修正。
- 電子音アラーム付。
- 温度表示

製品の説明



- ①スヌーズボタン/SNOOZE
- ②通常表示/
- ③モードボタン/MODE
- ④設定ボタン/SET
- ⑤調整ボタン/ADJUST
- ⑥受信ボタン/RECEIVE
- ⑦リセットボタン/REST

- ①スヌーズボタン: アラーム音が鳴っている時、ボタンを押すと音は止まり、再び鳴り出します。
- ②通常表示: 時、分、秒、月、日、信号強度マーク、曜日、40/60kHz表示。
- ③モードボタン: 標準時間モードとアラーム時間モードの切替を行います。
- ④設定ボタン: 標準時間モードでは、12時間形式と24時間形式の切替を行います。設定モードでは、設定項目を一つずつ設定していきます。
- ⑤調整ボタン: 日/月/年の表示の切替を行います。アラーム時間モードの場合は、アラーム/スヌーズ機能のオン/オフの切替を行います。通常表示の時、調整ボタンを押すと年が表われます。
- ⑥受信ボタン: 受信テストのための信号を受信する場合に、「受信」ボタンを押します。最初の30秒間に信号強度インジケータをチェックします。信号強度インジケータが、良好な信号品質を示していれば、時計をそこに固定します。示していない場合は、時計を別の位置に置き、もう一度「受信」ボタンを押します。受信は、6~12分経つと、自動的に切れます。
- ⑦リセットボタン: 電池交換後、表示なし、表示がおかしい時、新しいもので押し、表示がリセットされます。

画面上の記号



- ①時刻
- ②月
- ③日
- ④アラーム/スヌーズマーク
- ⑤温度
- ⑥信号強度

操作方法

■電池を入れる

- ①本体裏面の電池ボックスを開きます。単3乾電池×3本を正しく向きを間違えないように入れ、電池ボックスを閉めてください。
- ②電子音が鳴り、全表示点灯し約3秒後に通常となり、自動的に標準電波の受信を開始します。万が一表示もしくは動作に異常がある場合は裏面のRESET(リセット)を細いリガネ等で押してください。

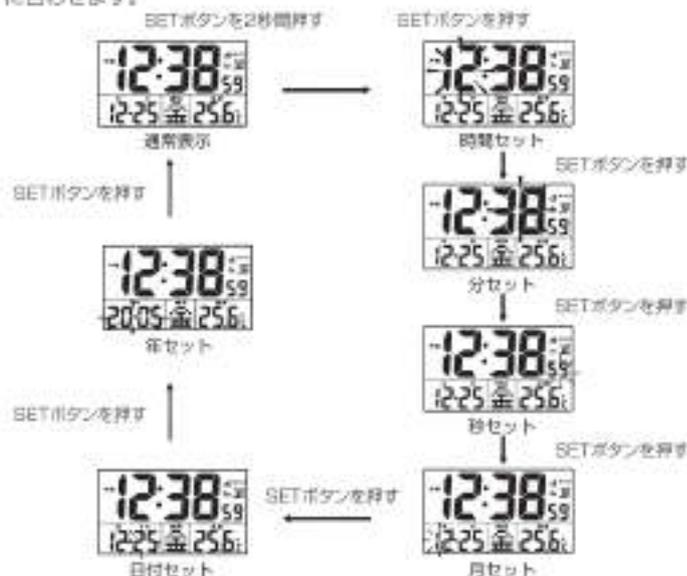
■時刻カレンダーの合わせ方

- ①電池を入れると、LEDマークが点滅して、標準時間の受信を開始します。自動的に電波を受信し時刻カレンダーを合します。
- ②LEDマークが点灯しない場合は電波が届いていない事を示します。受信に失敗するとLEDマークは表示されなくなり、正確な時刻カレンダーに修正されません。
- ③受信ができない場合は、場所を変えてもう一度やり直してください。裏面の項目「電波クロックについて」の「●受信に適している場所、向きの場所、時間帯」の項を参照してください。
- ④地域環境条件によっては受信不調により受信に時間がかかる場合があります。夜間は受信状態が良くなる為、一昼夜そのまま様子を見てください。

時間と日付の手動設定方法

電波を受信できない場合、手動で時間、カレンダーを合わせます。

1. 電池室から電池を取り出します。30秒待ってから、電池を戻し入れます。
2. 「SET」ボタンを2秒間押し続けると、「時」表示部が点滅します。
3. 「ADJUST」ボタンを押して、点滅している部分を合わせてください。
4. もう一度、「SET」ボタンを押すと、設定項目が次の設定項目に変わります。設定項目は、時→分→秒→月→日→年の順序で変わります。曜日は自動的に合わせます。



アラームの設定の方法

1. 標準時間表示が出ている時に、「MODE」ボタンを押して、アラーム時間モードにします。
2. 「SET」ボタンを2秒間押し続けると、「時」表示部が点滅します。「ADJUST」ボタンを押して、点滅している部分の数値を調整していきます。
3. もう一度、「SET」ボタンを押すと、分の表示が点滅します。「ADJUST」ボタンを押して合わせてください。設定項目は、時→分の順序で変わります。
4. 「MODE」ボタンを押して、設定モードを終了します。



アラーム&スヌーズ機能の使用法

- 前項に記載した手順でアラーム時間を設定します。アラーム時間設定後、
1. 「ADJUST」ボタンを押して表示に、「✓」マークを点灯させます。この場合アラームがONの状態です。
 2. アラームを解除したい時は、「ADJUST」ボタンを押してください。「✓」マークが消えます。(OFFの状態)
 3. 「ADJUST」ボタンを押してスヌーズ機能を作動させると、「Zz」マークが表示されます。
 4. アラームとスヌーズを解除するには、両方のマークが消えるまで「ADJUST」ボタンを押して下さい。
 5. アラームが鳴っている間にSNOOZE(スヌーズボタン)を押すと、アラームはいったん止まり、約4分間隔で4回アラームが鳴り、その後、翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

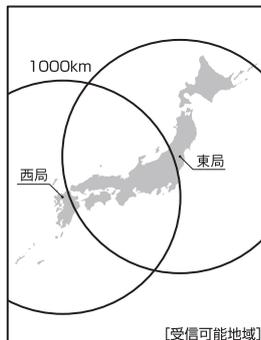
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

福島県の大鷹島台山(おおたかどややま)標準電波送信所(周波数40KHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60KHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の「セシウム原子時計」によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。通常は東日本では東局(周波数40KHz)西日本では西局(同60KHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±30秒の精度で計時します。



●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。

次のような場所・時間帯では正確に受信できないことがあります。

- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
 - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
 - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
 - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。



製品仕様

受信電波：JJY(長波標準電波)、周波数 40KHz(東局)/60KHz(西局)
作動電圧範囲：2.5V~3.3V DC
使用湿度範囲：0~+50℃
温度測定範囲：-8℃~+49℃(測定範囲以内での精度±2℃)
時計精度：平均月差±30秒(電波による待機修正を行わない場合)
電波受信機能：自動選択
電池寿命：約1年
時刻表示：12時間/24時間制表示
アラーム：電子音アラーム
カレンダー表示：2000年1月1日から2049年12月31日まで表示可能
使用電池：単3型乾電池×1本
※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

- つぎのような所では、使わないでください。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
 - 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。
 - 例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所。そのほか火気に近い所。
 - 浴室など湿気の多い所。
 - 強い磁気や振動がある所。
 - 電波ノイズを発生させるものの近く。

■お手入れ方法

- 日常の手入れの仕方。
- わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
 - よこれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
 - 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

電池について

⚠ 警告

●アルカリ電池について

- ①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
 - アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- ②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

●電池について

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- ①⊕⊖を正しく入れてください。
 - ②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
 - ③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
 - ④電池に直接ハンダ付けしないでください。
 - ⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
 - ⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
 - ⑦時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

アフターサービス・保証規定

- ①保証書は、この取扱説明書に付いておりますので必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年です。
 - ②修理を依頼される時(保証期間中は)
 - 1.取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に商品と保証書をご持参ご提示いただきお申し付けください。
 - 2.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ)ご購入後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)等による故障及び損傷
 - (ニ)電池交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ③保証期間を過ぎている時は、ご購入の販売店にご相談ください。
 - ④本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ⑤本書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。